

歓迎の挨拶

有馬 利男 グローバル・コンパクト・ボード・ジャパン議長
／国連グローバル・コンパクト・ボードメンバー

おはようございます。私はグローバル・コンパクト・ボード・ジャパン（GC-BJ）の議長をしております有馬でございます。グローバル・コンパクトは事務総長の直属の組織でありますので、そういった意味で、私のほうからはグローバル・コンパクトの活動につきまして少しご報告のような形でお話をしたいと思います。

グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク（GC-JN）は昨年 4 月に、民間主導、企業のトップ主導の体制に切り替えまして、ボードメンバーを定め、そして常設の事務局を設けました。

今日ご出席の桜井経済同友会代表幹事もボードメンバーになっていただいております、今日はGC-JN のメンバーの主要な皆様にご出席いただいております。

昨年来、我々の活動も大変活性化しております、例えば 1 年前はGC-JN の加盟企業数は 60であったのが、現在は 90 を超えるところまで増えてきております。またいろいろな分科会活動等に関しましても活発に動いております。

GC-JN 加盟企業の経営者に対しても、昨今の経済危機に対して、その原因や何をしなければいけないかなど質問状を出しご意見を収集してきております。その回答の中で、この経済危機に対して、企業が信頼をもう一度取り戻すことの重要性、そのためにCSR、あるいはESG（環境、社会、ガバナンス）の重要性をほとんど全員の方が指摘されていたことは大変勇気づけられることであります。

企業のトップ主導という意味では、各企業の若手経営者に集ってもらい、いろいろな専門家の方から話を聞き、自分たちで議論をし、問題提起をしていくという場、「明日の経営を考える会」という会合を毎月開催し、もうほぼ 1 年近く経ちます。

韓国のグローバル・コンパクトのローカルネットワークも大変活発な活動をしております。今年の 11 月に韓国、中国、日本のグローバル・コンパクトのローカルネットワークが集まってラウンドテーブルを開いて、北東アジアから世界に対して意見を発信していこうという計画が韓国側から提案がありました。我々も大変重要なことであると賛成をし、一緒に準備をしようとしているところです。

今日のこのラウンドテーブルのために大変貴重なお時間を割いていただきました潘国連事務総長、経済同友会の皆様、GC-JNのメンバーの皆様にお礼を申しあげまして、私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。